

広島市植物公園

見どころ案内

アメリカリノキ アナベル

(アジサイ科)

北米原産のアジサイ。純白の花は大きく、育てやすいことから庭植えにお勧めです。

展示会のご案内

◇展示温室 (6/24~7/12)
夏のカラフルリーフ展

◇展示資料館 (6/10~8/6)
むし・花・Zoo-Zoo 写真展

オトメギボウシ (キジカクシ科)

ギボウシのなかまの中で、もっとも小型で早咲きの種類です。韓国済州島が原産とされています。山野草として人気があり、斑入りや覆輪などの品種もあります。

プルメリア

(キョウチクトウ科)

熱帯アメリカ原産の常緑低木で、タヒチやハワイなどではこの花が好んでレイに使われます。初夏から秋にかけて開花します。

ルドベキア

インドハマユウ

ヒスイカズラ

シクンシ

(シクンシ科)

熱帯原産の大型のつる植物。5弁のきれいな花をつけます。咲き始めは白色で、次第に赤色が濃くなります。花には甘い香りがあります。回虫の駆除薬でもあります。

レンブ (フトモモ科)

マレー半島原産。放射状に伸びる雄しべが目立つ花が咲いています。ろう質で光沢のあるナシ型の実が成り、食べられます。

ムカゴコンニャク (サトイモ科)

生子(コンニャクの子芋)ではなく、葉の脇についたムカゴで増えるこんにゃくです。大温室のゾウコンニャクも目覚めました。

アエスクルス・パルビフロ
ーラ (トチノキ科)

北米原産の小型のトチノキの一種。白い花が木を覆いつくすほどたくさん咲いています。

キササゲ

(ノウゼンカズラ科)

和名は木になるササゲ豆から。果実には利尿作用があります。古い寺社に植えられているのをたまに見かけますが、これは樹高が高く、水分を多く含むことから、「避雷針」としての効果期待したものです。

ハンゲショウ (ドクダミ科)

水辺や湿地に生育する多年草。花は穂状に垂れている部分で、直前に出た葉が部分的に白くなるのが特徴です。半夏生(はんげしょう)とは季節を表す用語のひとつで、夏至から11日目(7月2日頃)を指し、名はその頃に咲くからという説と、半分白いから半化粧とする説があります。

クマノミズキ (ミズキ科)

三重県熊野地方に多く自生していたのが和名の由来ですが、本州以南に広く分布します。一つの花は小さいですが、まとまって咲くことで、昆虫を呼び寄せています。

